

川端鐵工

黒部市生地産区

めっき装置や搬送装置など、企業向けの生産機械を手掛けている。1952年に創業し、67年目。顧客から「こんな機械が欲しい」という要望を聞き、設計から始めて、希望にかなう機械を造る対応力が強みだ。

めっき装置は、自動車部品や電子部品などにめっきを施す機械。ノウハウを生かして、フィルムやガラス表面を加工する機械など、新しい分野にも取り組む。

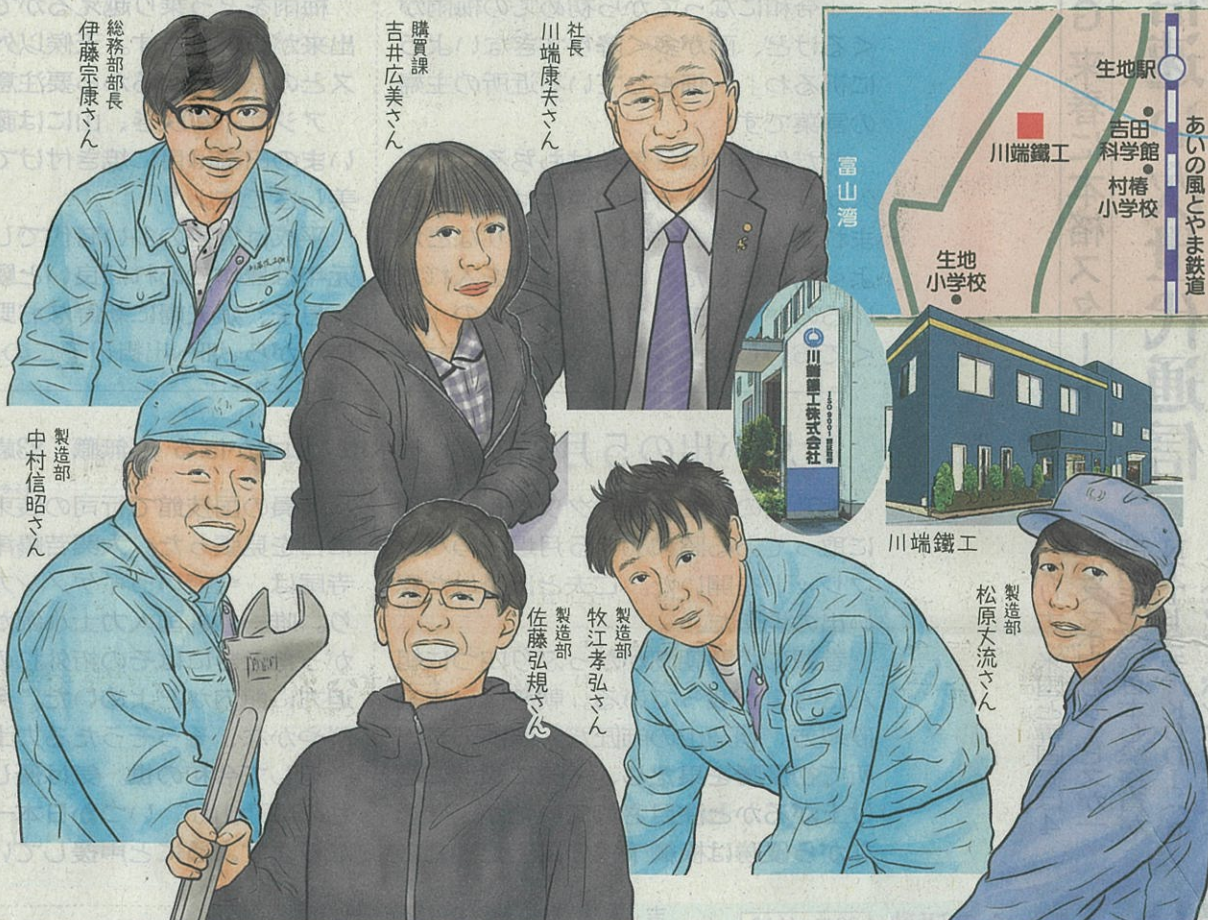
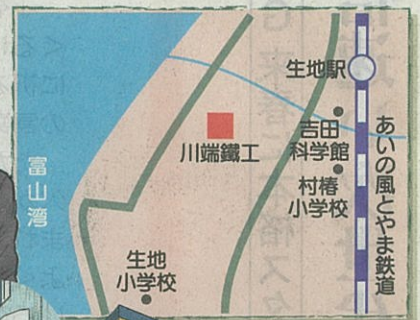
従業員は黒部市の拠点だけで約50人。日本企業の海外進出に合わせ、フィリピン、タイにも現地法人を持つ。2017年には、ミャンマーで小水力発電事業の現地法人を設立した。本年度は、国際協力機構(JICA)の採択を受け、ミャンマーで小水力発電による電力販売の事業化に向けた調査を行う。

川端康夫社長(66)は「地域と関わりを持つ会社でありたい」と、黒部商工会議所会頭としても活躍する。地域で長く続けることが会社の使命として、100年企業を目指す。時代の流れに遅れず、常に新しいものを取り入れていくのが長く続けるコツ。時代を先読みしながら新しい成長分野を見極めていきたい」と話している。

(黒部支局長・荒木佑子)



時代先読み 新分野挑戦



総務部長 伊藤宗康さん

購買課 吉井広美さん

社長 川端康夫さん

製造部 中村信昭さん

製造部 佐藤弘規さん

製造部 牧江孝弘さん

製造部 松原大流さん

次回は30日、社会福祉法人秀愛会(富山市稲代・大沢野)